

# 産業構造

工・商・農がバランス良く発展した  
県内有数の産業都市

工業・商業・農業ともに県内で5位以内に入るバランスのとれた産業都市です。企業が集積した工業団地や工業集積地が多数存在し、高度な技術力を有する多彩な企業が活躍しています。



御稜ヶ原工業団地

## 工業

製造品出荷額等  
9,324億円

県内2位

## 商業

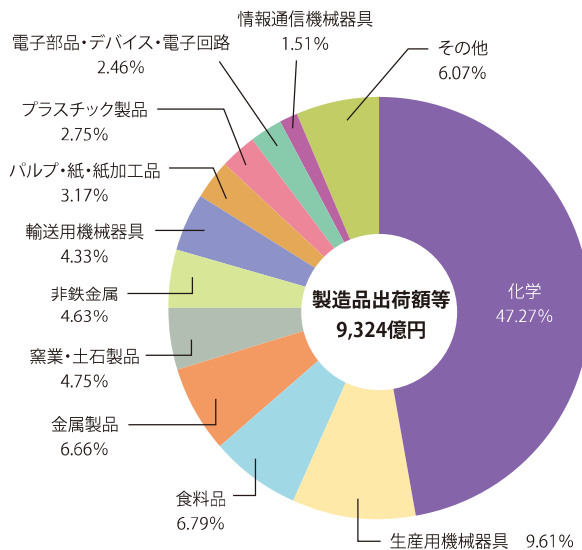
商品販売額  
7,133億円

県内5位

## 農業

農業産出額  
84億円

県内5位



※出典  
製造品出荷額等：2019年工業統計調査（2018年度実績）  
商品販売額：平成28年経済センサス活動調査  
農業産出額：平成30年市町村別農業産出額（推計）

# 産業支援

産学官金連携による  
ビジネス機会の拡大支援

熊谷市と地域商工業団体の支援のもと、市内企業、金融機関、大学等が幅広く連携し、イノベーションの促進による新たなビジネス機会の拡大に取り組んでいます。

## 大学

- ・立正大学

## 研究機関

- ・公益財団法人 本庄早稲田国際リサーチパーク

## その他の試験研究施設

- ・独立行政法人 自動車技術総合機構 交通安全環境研究所（自動車試験場、自動車試験場第二地区）
- ・埼玉県産業技術総合センター（SAITEC）北部研究所
- ・埼玉県農業技術研究センター

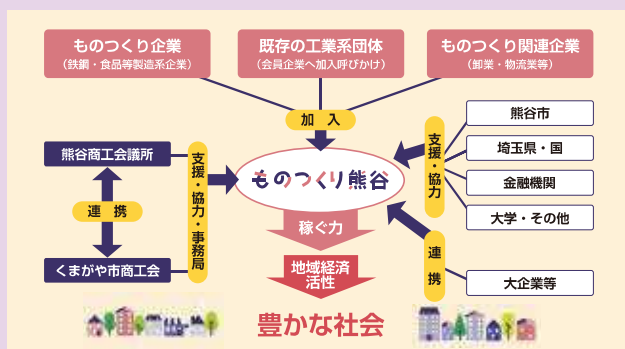


## ソシオ熊谷（協同組合 熊谷流通センター）



熊谷市を代表する卸商業団地で、共同物流センターを有する卸商業団地としては全国最大規模です。平成29年に開業した秩父鉄道ソシオ流通センター駅と流通センター周辺のまちづくりを今後進めていきます。

## ものづくり熊谷



産学官金の力を集結し、地域の「稼ぐ力」の創出、地域連携による新たなビジネス機会や販路拡大、イノベーションによる新技術・新商品の開発等を目的に、平成28年に設立された熊谷版ネットワーク拠点です。